

J R 東海 労申第 2 2 号
2 0 2 1 年 1 2 月 2 7 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

リニア中央新幹線工事に伴う大井川水問題に関する国土交通省の
専門家会議がまとめた中間報告に関する申し入れ

1 2 月 1 9 日、リニア中央新幹線工事に伴う大井川水問題に関する国土交通省の
専門家会議が中間報告（以下、単に「リニア水問題中間報告」）を公表した。

この報告を受けて国土交通省は J R 東海に対して、大井川流域住民の不安や懸念
を払しょくするよう指導したと報道された。

J R 東海 労は、リニア水問題中間報告で、リニア中央新幹線建設はあらたな節目
を迎えたと認識する。

従って以下の通り申し入れるので経営協議会を開催すること。

記

1. リニア水問題中間報告の内容、会社に求められている内容と、それに対する見
解を明らかにすること。
2. 国土交通省の指導は「異例」といわれている。「異例の指導内容」を明らかに
すると共に、指導内容に関して見解を明らかにすること。
3. 1 2 月 2 2 日のリニア中央新幹線建設に関する金子社長の発言を明らかにする
こと。
4. 静岡県や自治体側からは「J R 東海が真摯に対応しているとは言い難い」とい
う意見がある。この意見に対する会社の見解を明らかにすること。
5. 静岡県や自治体側からのデータの開示や、流水等の具体的な対策を求められた
場合に、具体的に対応するのか明らかにすること。
6. リニア中央新幹線建設はいったん中止すること。

以 上